

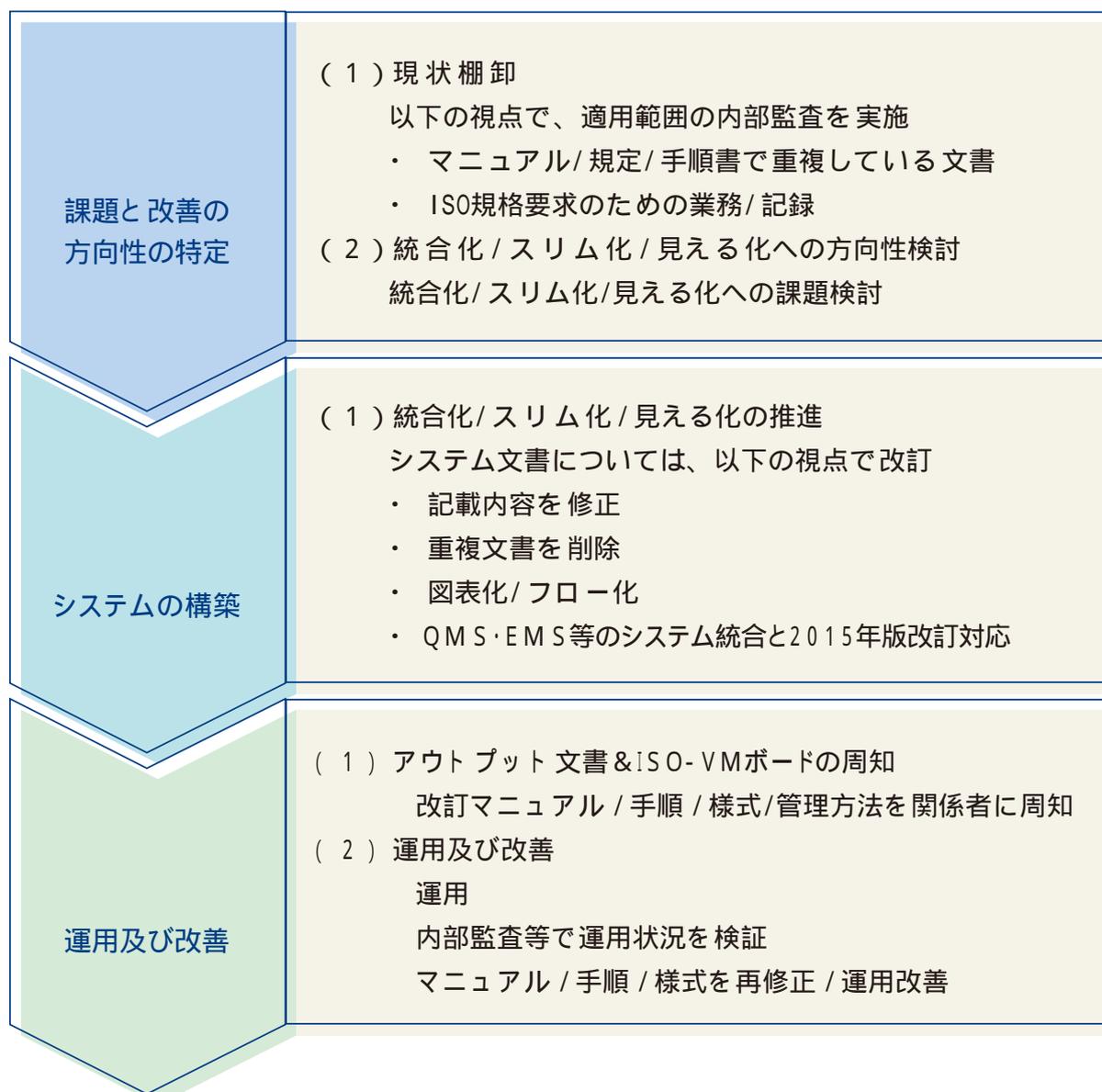
ISO 統合化・スリム化・見える化支援

ISOシステムを有効活用するためには、システムが重い(文書量が多い、手順が複雑、作業工数がかかる)、PDCAが回っていない、マネジメントに役立っていない等の問題を解決し、真に企業経営に役立ち、業績向上に貢献できるシステムへと変革していかなければなりません。

そのためには

ISOの各システムの統合化 経営システムとの連携・融合化
 文書と作業のスリム化 ISO-VMボード等によるシステムの見える化
 を実施していく必要があります。

また、2015年版改訂により、9001・14001・27001の規格要求事項の配列や要求内容の共通化が進み、ISO統合化・見える化・スリム化を推進することは時代の流れとなってきました。



ISO 統合化・スリム化・見える化支援

推進イメージ

文書のスリム化

各システムの統合

ISO-VMボードによる見える化(イメージ)

ISOシステムの原則

本来原則	ISOマネジメントシステムで経営管理がなされている
質の原則	製品・サービス、業務の質、管理の質、経営の質を追求している
レビュー原則	レビューを重視している
スリム化原則	動きやすい、機能しやすい、肥満していない
シンプル化原則	管理しやすく機能しやすい
見える化原則	PDCAが見える、回っている

スケジュール

実施期間は、対象範囲、システム数（QMS、EMS、ISMS等）、統合化・スリム化・見える化をトータルで推進するか、別々で推進するか、2015年版改訂を行いながら実施するかによって異なりますが、通常、6ヶ月（スリム化のみ）、10ヶ月（統合化+2015年改訂）、2年（フルコースの場合）で実施しています。

問い合わせ先

(東京) 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-2-6 (垣見麹町ビル5階)
 TEL: 03-5275-7751 FAX: 03-5275-7755 e-mail: tokyos@chusanren.or.jp